

【意見】

今現在、市政に期待する事として注視することは、コロナ、少子高齢化などによる先行き不安からの攻略、答えなのだと考えます。その他未来への軌道が、公共の使命に重きを思います。

そこで、今現在は地域住民で構成されている消防団のように、医療に対しても補佐出来る一般住民を結成する案を求めます。

上記に対して具体的に考えますは、逼迫する状況下に成りうると判断(市、又は県、国)した場合は一般住民の中から、経験者など、一定の基準を満たした者を集結し、ボランティアとして助け合うことは出来ないでしょうか。また、先進的な利根沼田の『こと、づくり』を提案願います。

別案としまして、市内を無料で巡回する、無人少人数バス(電力)はどうですか？例えば、沼田駅～市役所～県民庁舎～沼田駅みたいに、自然エネルギーでの運航は魅力的だと思います。

男性40代：市内在住

【回答】医療を補助するボランティアについて

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大によって、国内においても感染者数が増加しており、本地域においても感染が拡大した場合、地域医療が逼迫した状況になることが想定されます。また、大規模災害等が発生した場合にも同様なことが想定されますが、いずれの場合も通常の医療とは異なり、高度で専門的な知識や対応が必要となることから、現段階では、直ちに地域の医療を補助するボランティアを組織することは、難しい状況にあります。

しかしながら、非常事態においても医療体制を維持することは重要な課題でありますので、持続可能な医療体制の充実に向けて、検討を進めてまいりたいと考えております。

担当：健康福祉部健康課予防係

【回答】公共交通機関について

公共交通の見直しについては、現在、喫緊の課題として取り組んでおりますが、ご提案いただいた再生エネルギーの活用、自動運転バスの導入、或いは市内巡回路線などにつきましても、貴重なご意見として承り、検討を進めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

担当：総務部企画政策課政策推進係